

PRESS RELEASE



平成30年（2018年）8月2日

旧制山形高校時代の歴史資料の再発見 ～学校設置時の市民からの寄附申込書と出陣学徒名簿～

【本件のポイント】

- 山形大学の前身、旧制山形高等学校に関する貴重な歴史資料が見つかりました。
- 今回確認された資料は、高等学校設備寄附申込書（大正8年）、出陣学徒芳名簿（昭和18年）の2点です。



【概要】

第2次世界大戦後、旧制山形高等学校が閉校した時に、旧学校資料の多くは廃棄されましたが、貴重な資料の数点が、同窓会組織で保存されていました。今回、山形高等学校設立百年記念祭（2020年予定）の準備をする中で数点の歴史資料の存在が明らかになりました。

大正8年(1919年)の資料「高等学校設備寄附申込書」では、山形高等学校の設立準備金をまかなう寄附金として、山形市民622名が山形市長あてに総額208,115円の寄附を行った内容（寄附者の氏名、住所、寄附金額等）が記録されています。昭和18年(1943年)の資料「出陣学徒芳名簿」では、第二陣の学徒出陣で出征した文系クラス学生37名と理系クラス1名の計38名の氏名が記載され、写真とともに各人の一言が書かれています。

【背景】

山形高等学校は大正9年（1920年）に設立され、昭和24年（1949年）の学制改革で新制山形大学に包括されて、文理学部（現在は人文社会科学部・理学部）の母体となりました。関連する同窓会組織は「ふすま同窓会」と称し、旧制（山形高等学校）・新制（山形大学文理学部・人文学部・人文社会科学部・理学部および関連大学院）の卒業生が会員となっています。

【経緯】

新制山形大学への移行期に、山形高等学校の書類は多くが廃棄されました。その中で特に貴重な資料については、旧制高校から新制大学に引き続き勤務することになった事務職員が回収して、約69年間にわたりふすま同窓会で保存されてきました（当時の事情を知る同窓会関係者の話）。これらの資料については、本学の図書目録や山形大学歴史資料一覧等には記載されておらず、公の場で存在が明らかにされるのは、今回が初めてです。

ふすま同窓会の百年記念祭（2020年開催予定）の準備について、本学関係者と同窓会が連絡をとりあうなかで、今回の資料も含めた数々の歴史資料の存在が初めて確認されました。

高等学校設備寄附申込書には、書き込みがあることから、一部の専門家には存在が知られていたものと推察されます。出陣学徒芳名簿とともに、本学の歴史を知るための貴重な一次資料ですが、いずれの資料についても出版物等での引用例は確認されておりません。

【資料からわかること】

<高等学校設備寄附申込書について>

大正8年に小鷹鋭健山形市長に提出された山形市民の寄附申込書を綴じた文書です。記載された一人あたりの寄附金額は当時のお金で10円以上、中には数千円のものもあり、即時払いから数年にわたる分納まで、様々な形で寄附が行われたことが読み取れます。山形市民からの寄附金は当初計画の20万円を大幅に上回り、最終的には436,999円となりました（注1）。今回発見された資料では、寄附金総額が208,115円となっているため、寄附者の一部であると考えられます。

山形高等学校を設置するために、学校敷地取得と校舎建設などの費用として79万5千円が必要とされました。

この費用をまかなうために、当初計画では県からの資金提供と山形市民からの寄附金に加えて、県下の資産家有志から20万円、残りは県税として一戸あたり42銭8厘を賦課する方針でした。しかし、山形市民からの寄附金が当初目標を大幅に上回ったため、県税の賦課は大幅に軽減されました。

大正8年頃と現在の物価等を比較すると、白米などの生活物資は約1000倍、公務員初任給や国立大学授業料は約10000倍になっています(注2)。これらを参考にして、山形市民からの寄附金を現在の貨幣価値に換算すると約44億円、設置費用総額は約80億円に相当すると考えられます。

<出陣学徒芳名簿について>

山形高等学校には文科と理科でそれぞれ2クラスがあり、当時の文系1クラスの学生数は約40人でした。山形高等学校からの学徒出陣は、昭和18年と昭和19年の2回にわたり行われたと推定されますが、記録資料がないためこれまで出陣学生の氏名等は確認できませんでした。今回発見された資料には、昭和18年当時に山形高等学校長だった西澤富則先生の署名があり、第二回の学徒出陣に関するものと考えられます。本資料には、文1及び文2クラスの学生37名と理クラスの学生1名の計38人が、一人ずつ正面を向き、武運長久などの寄せ書きをした襷を掛けて撮影した写真と、各人の思いを述べた一言が付けられています。

【今後の展望】

今回確認された歴史資料は、本学の過去を顧みるだけでなく、未来を考えるうえで必要となる貴重な資料となるものです。今後、山形高等学校をはじめ、本学の母体となった旧制の各学校や出陣学徒などに関する資料等についても、引き続き調査を進めていきたいと考えています。また、戦前の学校資料については、県民の皆様にも情報提供のご協力をお願いしたいと考えております。

※参考資料

注1 「山形高等学校・山形大学文理学部五十年史」 山形大学 昭和45年

注2 「値段史年表 明治・大正・昭和」 朝日新聞社 昭和63年

※関係連絡先

ふすま同窓会 住所 990-0034 山形市東原町1-9-4
電話番号・FAX 023-633-9927 (電話は祝日除く月・水・金曜日のみ対応可)
URL: www4.plala.or.jp/fusuma/

お問い合わせ 山形大学広報室 TEL 023-628-4008 メール koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
